

あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター
住所:名古屋市東区泉 1-13-34
名建協 2階
TEL:052-971-2030
FAX:052-971-2050
開館:月曜～金曜 10時～17時



5月に日程変更された相馬野馬追(5/25・26・27)

(写真・チラシ提供:南相馬市 小林友子さん)

岩手県名古屋事務所・福島県名古屋事務所等の入る新しくなった中日ビル



写真提供:

北東北三県名古屋合同事務所
福島県名古屋事務所



「サカエるマルシェ」(中日ビル 2F)

【支援情報】「令和6年能登半島地震により二次避難・広域避難で愛知に来られたみなさまへ」

○「能登半島地震避難者支援ネットワークあいち」
(認定NPO法人レスキューストックヤード内)
被災・避難のこと、支援制度のこと、不安なこと、どこに相談したらよいかわからないことなど、まずは気軽にご連絡ください。

Tel : 052-253-7550 (平日 10:00～18:00)

E-mail : info@rsy-nagoya.com

【名古屋市にお住まいの方の窓口】

○被災者支援ボランティアセンターなごや

Tel : 070-5587-7153(平日 9:00～17:00)

電話相談・来所相談いずれもお受けしています。

【2024年度7月号152号】

もくじ

- P1. 表紙写真:相馬野馬追、岩手・福島名古屋事務所他
- P2～3. 交流会報告:濱田農園農作業体験交流会、甲状腺エコー検診&交流相談会(名古屋市・北病院)
- P4. 投稿/北東北三県名古屋合同(岩手県他)・福島県名古屋事務所のご案内
- P5. 投稿/南相馬市小高区-新たな挑戦
- P6. より快適な避難所の支援を考える
- P7. おすすめの一冊
- P8. イベント情報、ウクライナ料理レストラン「ジート」開店、レシピ、編集後記

濱田農園農作業体験交流会@東浦町 6/8(土) 参加者：5世帯7名(内子ども1名)

濱田農園に参加して12年になります。小さかった子どもたちは毎回来ていましたが、今では大きくなってそれぞれに出かけるようになり、農園にもついてこなくなりました。いつも皆さんとお話ししながらの畑仕事、楽しく参加しています。愛知県のことも教えてもらったり、沢山助けていただいて、感謝しています!! (S.M)



福島に住んでいる時は当たり前だと思っていた自然との触れあいの時間は、今となってはとても貴重です。こうして農作業をしながら自然と触れ合い、福島の話をしたり今の話をしたり、とても心地よく過ごすことができました。私にとっては、こういった時間をいただけることがありがたく、大切な場所になっています。いつも素敵な時間をありがとうございます (Y.H)

楽しい一日でした。野菜でおいしい料理を作りましょう (M.S)



天気も良く、収穫、植え付け、夢中でやりました。とってもとっても楽しく、ぜいたくな時間でした。お昼も心づくしのランチを頂けて、幸せ〜♡と感じました。ありがとうございました。収穫のお野菜付きで満足でした (Y.A)



お天気が良くて、最高でした！
ワンちゃんにも遊んでもらえて、
ご飯もおいしかったです (M.Y)



ひなちゃんのお気に入り♡
わかキュウリ
プレスレット!!



甲状腺エコー検診&交流相談会@名古屋 北病院 6/16(日)



交流相談会「みんなのば」で、テーブルごとに臨床心理士、在宅保健師他による相談会

甲状腺エコー検診(主催:愛知県民主医療機関連合会)は北医療生協北病院(名古屋市北区)で実施され、10世帯24名が参加、同時に開催した交流相談会「みんなのば」(主催:愛知県被災者支援センター@すまいるハートビル)には13世帯28名の避難者の方が参加されました。

<甲状腺エコー検診>

- ・親切に説明をして下さり、本当に安心できます。ありがとうございました。
- ・進行していなくて良かったです。また名古屋でやる時は来たいと思います。
- ・安心して受けることができて良かったです。
- ・大変丁寧にご対応いただきました。年齢と共にどのような影響があるか、知識がなかったので、お医者様のお話をうかがい、安心しました。継続していただけることに、心より感謝申し上げます。13年経過して、忘れてしまうことが悲しく思います。どうぞ引き続き、よろしくお願い致します。



吉岡モモ先生による『健康講座』-「健康の社会的決定要因は…」



北病院で医療関係者の打ち合わせ



<交流相談会「みんなのば」>

- ・いろいろお話しできて、楽しかったです。

<全体の感想>

- ・皆さまとお会いでき、基本的な暮らしを見直しますね。吉岡先生の講演から、沢山の生きるヒントもいただきました。

投稿//「北東北三県名古屋合同事務所」・「福島県名古屋事務所」のご案内 (@中日ビル)

名古屋市栄の中日ビルが4月23日に新装オープンになり、その中にある岩手県名古屋事務所・福島県名古屋事務所もリニューアルオープンしました。両事務所から原稿をお寄せいただきました。

「北東北三県（岩手県・青森県・秋田県）名古屋事務所」

4月、北東北三県合同の名古屋事務所の入居する中日ビルがグランドオープンしました。中日ビルは50年以上前に開業し、名古屋の人々に長年親しまれてきましたが、2019年に閉館、建て替え、地上33階、地下5階の高層複合ビルに生まれ変わりました。5階には、岩手県(北東北三県合同事務所)を含む15の県外事務所が、全国物産観光センターとして入居しています。



北東北三県名古屋合同事務所では、事務所前スペースでデジタルサ

イネージ(*)による情報発信のほか、「桜の名所の開花情報」や「夏祭りの情報」など、シーズンごとに今一番見て欲しい観光スポット情報のパネル展示などを行っています。

また、2階には、全国から選りすぐりの商品が集まるショップ「サカエるマルシェ」があり、岩手の県産品を含め、他県事務所と連携して各地の特産品などを販売しています。オープン以来、5階事務所、2階マルシェとも、多くのお客様で賑わっています。

北東北三県名古屋合同事務所の観光コーナーでは、岩手県各地の観光パンフレットも豊富に取り揃えておりますので、栄にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。(*デジタル技術を使用した電子看板)

「北東北三県名古屋合同事務所」観光コーナー

住所：名古屋市中区栄4-1-1

電話：052-251-2801

開所時間：月～金 10:00～17:00(12/29～1/3 休み)

「福島県名古屋事務所」

住所：同左

電話：052-251-0368

8:30～17:15(12:00-13:00 昼休)

〔福島県名古屋事務所〕

東日本大震災と原子力発電所の事故から13年が経ちました。謹んで、犠牲になられました方々の御冥福をお祈りすると共に、御遺族や被災された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

福島県では、復旧・復興に国内外の多くの皆様方からの御支援を受け、取り組んでおり、着実に進んでいる面もございますが、いまだ道半ばの面も多くございます。これからも長い道のりではありますが、皆様方の御理解と御支援のほどよろしくお願いいたします。

さて、福島県名古屋事務所は、本年4月にグランドオープンした中日ビル5階「全国物産観光センター」にあり、福島県の観光・物産PR、工場等の誘致、県人会事務局、東日本大震災に伴う避難

者への情報提供などの業務を行っています。

特に東海地方の皆様方に「福島

県」を知っていただき、できれば実際に足を運んでいただくため、ふくしまの今を伝える観光動画放映や観光パンフレット配付などのPRも実施しております。

ぜひお気軽に本事務所前までお越しいただき、「花・食・温泉・酒・歴史・自然」など、広大な土地と豊かな自然や文化に恵まれた皆様の美しい故郷「ふくしま」に思いを馳せていただければと思います。



投稿//「今年の野馬追いも終わりました! そして、今~」 小林友子(南相馬市小高区在住)

2011年に南相馬市小高区から豊田市に避難され、その後、旅館「双葉屋」の再開のため帰還された小林友子さんに、今年から時期が早まった相馬野馬追祭を中心に、福島・小高の再生を願って始められた「希来の杜(きらのもり)」(代表:小林友子さん)の歩みの様子、放射能測定など、最近のご自身のフェイスブックを元にご紹介いただきました。

○相馬野馬追

5月29日 野馬追いも終わりました。なんとなくゆったりとして穏やかに過ごしました。

- ・初日、野馬追の“よい乗り”の行列を見て、午後から、駅前の芝桜の草取りを福島大の学生さんに手伝ってもらい、きれいにして頂きました。他のメンバーは、東公園の草刈りをして、駅前をきれいにして頂き、地区の区長さんからの差し入れのアイスまんじゅうを頂き、汗も吹き飛びました。
- ・2日目の本祭は、福島から戻った兄嫁さんの助っ人で(双葉屋の)部屋の掃除と食器洗い、掃除を午前中に終え、昼は洋太シェフのカレーを食べ、横田バラ園に寄って、隣のコピスガーデンでバラの鉢を買い、夕飯の準備に帰りました。
“よい乗り”の馬の落ち着いたかなさと違って、“帰り馬”の行列はゆったりと、あまり辛そうでもなく誇らしげに、堂々とした風情での行列でした。夜の火祭りの花火を、目の前の道路上で見っていました。「きれい!」の一言でした。



○希来の杜(きらのもり)

最終日の野馬掛けも終わり、午後から「希来の杜」で、湿地でのピオトープの整備。木道作りが始まりました。直前の声かけに答えてくれた、小高復興デザインセンターOBの皆様ほか、ありがとうございました。気温も、お天気も晴れ晴れとして、心地よい風もふき、過ごしやすい日々でした。

「希来の杜」では、菜種油の搾油が始まりました。飯館の菜種も搾り始めたので、浜通り産としました。生搾りの菜種油と菜種油で作ったボディソープ、ハンドソープセットも販売します。



浜通り産菜種油で作るハンドソープ。きれいな菜の花色です♡



○放射能測定

測定は、今は年一回で、今年も実施しています。まだ汚染マップにはできていません。

より快適な避難所の支援を考える—能登半島地震の支援報告を聞いて

(レスキューストックヤード定期総会にて あおぞら編集委員:瀧川裕康)

<以下は、誇りある憲法の条文です。被災地でも、これを反映させた支援が欲しいです>

〔日本国憲法第25条〔生存権、国の社会的使命〕〕

- 1 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する
- 2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

① 被災直後の避難所は

私が知っている限り被災直後の避難所は、1995年1月の阪神淡路大震災以降、ずっとこれらの写真(右)のような状態が続いています。住んでいた家が倒れたり、身内や友人が亡くなったりして、心がとても不安定な時に、このような所でいつまでも生活するのは、心も体も悪くなると思います。



1995年1月の阪神淡路大震災。東灘区避難所

② 台湾の避難所が素敵

2024年4月に起きた台湾の花蓮地震の避難所が見事でした(4月9日のモーニングショーで放映されたものです)。その日の内に避難所にプライバシーの守られたテントが張られ、バラエティーに富んだ食事が紹介されました。かつては日本と同じような学校の体育館の避難所だったとのこと。それが6年前から、このような素敵な避難所を提供できるようになった、と説明がありました。



③ 能登半島地震の穴水町で

実は、今回の能登半島地震の穴水町で、レスキューストックヤード(以下RSY)が、穴水町社会福祉協議会と手を組んで今までにない立派な避難所運営が出来ていました。6月23日のRSYの年次総会で、社会福祉協議会の橋本みすずさんの発表で詳細が語られました。2007年3月の能登半島地震の穴水で、当時のRSYとの連携が今に繋がっていることは大きな意味があると思いました。



2024年能登半島地震被災地と3月1日時点での死者数

とはいえ、「国としての積極的な支援がさらに必要であると感じています」(RSY機関紙『あるある128号』)という記述は、全くその通りだと思います。ボランティアに任せ過ぎではないですか？被災したら、国はより迅速に、「金」も「手」も「足」も出して欲しいと思います。



1月18日頃の穴水中学校。教室にバラバラだった人々を剣道場に統合。パーティションと簡易ベッドが入れられた



1月16日頃、公共施設「ブルート」の福祉避難スペース。見守りのため、壁はわざと低くされている



1月13日、自主避難所に各所からベッドが届けられた

おすすめの一冊

- ① 『チェルノブイリの祈りー未来の物語』〔完全版〕スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ著 岩波書店
② 『チェルノブイリの祈り』〔漫画版〕 原作;アレクシエーヴィチ 漫画;熊谷雄太
監修;今中哲二他 白泉社

①の『チェルノブイリの祈りー未来の物語』は、1986年のソ連・ウクライナ共和国(当時)で起こったチェルノブイリ原発事故の被害者・関係者など多方面の当事者の声・“小さき人々の声”を、アレクシエーヴィチが丹念に集めて一冊の本にしたもの。チェルノブイリ原発事故とはどういうものだったか、原発事故が大地・地域社会・世界に何をもたらしたか、放射能が人間・個人・未来に何をもたらしたのかを解き明かそうとした作品で、ウクライナ生まれの作者アレクシエーヴィチは、この本を出版したことによって住んでいたベラルーシを追われた。しかし彼女の意欲的な作品は国外では評価が高く、2015年にノーベル文学賞を受賞している。2003年にはNPO法人「チェルノブイリ救援・中部」(名古屋市)ほか11の市民団体等が、当時彼女が身を置いていたパリから招き、日本各地で講演会を開催した(講演録『チェルノブイリー未来から示されたサイン』)。



②は、最初に出版された本の漫画版で、①の原作を忠実に“コミカライズ”(コミック化)された作品で、現在1~4巻まで出版されているそうだ。第1巻には、原作の第1話から5話までが描かれ、原作にない言葉は入れず、綿密な絵で、漫画でしかできない伝え方によって、原作が見事に新たな作品になっていて、驚きだ。原発の技術的な面や放射能の科学的な影響などについては、原発・放射能問題の専門家である今中哲二氏(京都大学複合原子力科学研究所 熊取6人衆と言われた)他が監修を行っている。この漫画版を知ったのは、この今中氏から「実は今はこんなものが出ているんですよ」と教えてもらったのだ。ぜひユース世代からシニアまで、この漫画版を手にとって原発事故

本書の中で語られた言葉は、時に叫びに似ていたり、どこへぶつかたらよいかわからない怒りや抗議のような、また未来への祈りのようなつぶやきだったり、大幅に追記された完全版であり、作者は長くほぼ20年間にわたってチェルノブイリについて書き続けてきた。



左側が原作の書籍、右側が漫画版

のもたらしたものを再考していただけたらと願う。

現在も、ウクライナはロシアの侵攻による戦争が続いており、その当初には、ウクライナ北部にあるチェルノブイリ原発がロシア軍によって一時占拠された。原発の管理棟などのパソコン類や測定器具などは皆壊されたか盗まれ持ち去られているそうだ。まだまだ原発そのものをこの先何十年も管理し続けねばならないものを。

また、南部にあるザポリジヤ原発は今もなおロシア軍下に置かれていて、ウクライナの専門職員は外に出され、ロシア軍が作業しているという。原発のような施設は、戦争下いつ何時、何事が起きるかわからない状況下、チェルノブイリ事故が繰り返されないことを祈る。(編集委員:戸村)

【イベント情報】 *開催・内容等が変更になることがあります。詳しくはチラシでご確認ください。

開催日	イベント名	内容（主催など）	会場
8/10（土） 10:30～11:30	あおぞらカフェ	「ローズhipティーで夏を乗り切る」、ご飯に合うローズソルト作り 主催：あおぞらカフェ実行委員会	RSY 事務所 地下鉄【名城線・桜通線】久屋大通駅 1A 出口徒歩 3 分

ウクライナ避難者の近況 ウクライナ料理レストラン「ジート」開店!!

（あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク:

事務局レスキューストックヤード)

ウクライナのロシア侵攻による戦争は人々の願いに反して、終わりが見えず、ウクライナからの避難者が一人また一人と、新たな人が東海地域に來られています。避難生活の長期化から、日本語を一生懸命勉強していても、就職するには困難です。

そこで、日本ウクライナ文化協会・JUCA は避難者も働ける場として、名古屋駅近くにウクライナ料理のレストラン「ジート」をオープンさせました。名古屋駅近くウインクあいちの地下にあります。本場のウクライナ料理が食べられますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



《 さっちゃんのレシピ・番外編 ビーツのスムージー 》

真っ赤なビーツは、食べる輸血と言われるほど栄養豊富！フルーツ等と一緒にスムージーに。

【材料 2 人分】 ビーツ 1/2 個、バナナ 1/2 本、ゆで汁 50 cc、リンゴ 1/2 個、
ヨーグルト 80 cc、（お好みで蜂蜜大さじ 1）

【作り方】

1. バナナ半分はスライスして凍らせておく
2. ビーツは半分に切り皮を剥き、薄切りにして茹でておく（茹で汁も凍らせると尚良い）。
3. ビーツ、バナナ、リンゴ、ヨーグルトなど好みで。リンゴはスライスか、すりおろす
4. ビーツ、ビーツの茹で汁、バナナ、リンゴ、ヨーグルトをミキサーに入れ、（お好みで蜂蜜を加えて）攪拌して出来上がり（ネット情報を参考に作ってみました）



【編集後記】

- ・職場(高齢者施設)に出勤すると、利用者さんが書いた願い事の短冊が、笹の葉にたくさんぶら下がっていました。顔にぶつかった短冊を見たら、なんと「お金持ちになりたい」でした。そばにいたスタッフに「私もなりたい」と言ったら、「私だってなりたいよ」と返事が返ってきました(T.S)
- ・毎日の 料理考え 買い物に 歩く 5000歩 認知症予防/ いつもなら 行列パン屋 大雨の 降る店の前 待つ人いない/ 料理した 赤いボルシチ 大鍋に 明日も食べる カレーのように (T.H)
- ・2年前まではエアコン使用はなるべく我慢していた。去年から時に使うようになり、とうとう今夏は必需品になった。エアコンがあるのに使わなくて、熱中症で亡くなる老人たちがいるのが悲しい (T.K)